

令和元年度
決算説明資料

令和2年10月8日

交 通 局

目 次

頁

1	バス事業決算収益比較	1
2	バス事業運営費負担金	2
3	バスの有責事故件数の推移	4
4	バス運転士の年齢別有責事故件数の推移	5
5	バスの運行に係る法令違反等の推移	6
6	女性専用車両導入の経過	7
7	愛知県からの高速度鉄道事業補助金	8
8	広告料収入の推移	10
9	広告申込時の流れ	11
10	オリジナルグッズの販売状況	12

1 バス事業決算収益比較

(単位 千円・税抜)

区 分	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増 △ 減 (A) - (B)
自動車運送事業収益	25,857,938	26,703,955	△ 846,017
営業収益	21,382,461	21,111,478	270,983
運輸収益	17,460,832	17,688,398	△ 227,566
定期	4,507,475	4,407,051	100,424
定期外	6,173,613	6,481,558	△ 307,945
敬老	5,962,976	5,970,322	△ 7,346
福祉	726,118	735,410	△ 9,292
貸切	90,650	94,057	△ 3,407
運輸雑収	3,921,629	3,423,080	498,549
土地物件 貸付料	144,696	145,041	△ 345
広告料	190,721	194,584	△ 3,863
バス事業運営費 負担金	3,160,000	2,650,000	510,000
運転等受託収入	350,016	335,578	14,438
事故弁償金等	76,196	97,877	△ 21,681
営業外収益	4,253,639	3,817,421	436,218
受取利息 及び配当金	393	375	18
一般会計負担金	113,646	119,826	△ 6,180
一般会計補助金	4,056,756	3,599,342	457,414
県補助金	17,063	16,900	163
長期前受金戻入	42,232	48,975	△ 6,743
雑収益	23,549	32,003	△ 8,454
特別利益	221,838	1,775,056	△ 1,553,218
固定資産売却益	—	1,616,597	△ 1,616,597
その他特別利益	221,838	158,459	63,379

2 バス事業運営費負担金

(1) 趣旨

交通局では、バス・地下鉄の一体的なネットワークの形成を目的として、地下鉄路線の整備とバス路線の再編成を実施することにより、利用の多い基幹的な役割を地下鉄が、また、地下鉄への支線（フィーダー）としての役割をバスが果たすこととしてきました。

バス事業運営費負担金は、当初は地下鉄開業に伴うバス路線の再編成の影響分を地下鉄が負担してきましたが、平成28年度からはバスが地下鉄にお客さまを運んでいるという役割に対して、地下鉄がバスからの乗継利用で得た収入の一部をバスの貢献分として負担しているものです。

(2) 積算方法の推移

(単位 百万円)

区 分	積 算 方 法	金 額
平成 11～17年度	地下鉄開業に伴うバス路線の再編成により生じたバス職員平均年齢上昇による人件費増の1/2	1,200
18～21年度	地下鉄名城線砂田橋から新瑞橋開業に伴うバス路線の再編成による減収分	1,565
22～27年度	地下鉄名城線砂田橋から新瑞橋及び桜通線野並から徳重開業に伴うバス路線の再編成による減収分	1,950
28年度	地下鉄がバスからの乗継利用で得た収入の1/2	2,610
29年度	同上（27年度実績を反映）	2,670
30年度	同上（28年度実績を反映）	2,650
令和 元年度	同上（券種を追加・29年度実績を反映）	3,160

(3) 令和元年度に増額した理由・積算方法

趣旨を踏まえ、より実態に即して負担金を積算するため、平成30年度までの積算方法に加え、乗継利用が行われている一日乗車券や敬老福祉パスについても算定に含めました。

(単位 百万円・税込)

区 分	積 算 方 法	金 額
バス・地下鉄 連絡定期券	3, 7 6 1 (乗継利用収入) $\times 1 / 2$	1, 8 8 0
普 通 券	1, 5 6 1 (乗継利用収入) $\times 1 / 2$	7 8 0
小 計 (平成30年度までの積算方法にかかる分)		2, 6 6 0
バス・地下鉄 一日乗車券	6 3 6 (乗継利用収入) $\times 1 / 2$	3 1 8
敬老福祉パス	3 6 4 (乗継利用収入) $\times 1 / 2$	1 8 2
小 計 (令和元年度追加分)		5 0 0
合 計		3, 1 6 0

(注) 普通券には、ＩＣカードによる利用を含みます。

3 バスの有責事故件数の推移

(単位 件)

区 分	平成30年度	令和元年度
対車両事故	162	164
車内事故	152	126
歩行者等との事故	17	17
構造物等との事故	132	114
そ の 他	47	58
計	510	479

(注) その他は、バス車両の原因不明の傷や水はねを生じたものなどです。

4 バス運転士の年齢別有責事故件数の推移

区 分		平成 3 0 年度				令和元年度			
		事故 件数 (件)	運 転 士 数 (人)	1 人 当 た り 件 数 (件/人)		事故 件数 (件)	運 転 士 数 (人)	1 人 当 た り 件 数 (件/人)	
60 歳 以 下	40 歳 以 下	113	384	0.29	0.27	92	324	0.28	0.24
	41 ～ 60 歳	335	1,275	0.26		311	1,340	0.23	
61 歳 以 上	61 ～ 65 歳	9	37	0.24	0.29	8	40	0.20	0.31
	66 歳 以 上	15	46	0.33		14	32	0.44	
計		472	1,742	0.27		425	1,736	0.24	
不 明		38	—	—		54	—	—	
合 計		510	—	—		479	—	—	

(注) 不明とは、バス車両に傷があるものの運転士を特定できないものです。

5 バスの運行に係る法令違反等の推移

(1) 道路交通法違反及び不適切事案

(単位 件)

区 分	平成30年度	令和元年度
道路交通法違反	6	3
不適切事案	24	22
計	30	25

(注) 不適切事案とは、信号不注意及び車内点検不履行などです。

(2) 運行ミス

(単位 件)

区 分	平成30年度	令和元年度
路線誤り	219	220
ダイヤ誤り	76	68
バス停通過	135	138
行先表示誤り	14	9
計	444	435

6 女性専用車両導入の経過

(1) 導入の経過

路 線 名	時 間 帯	導 入 年 月 日
東 山 線	平日 始発から 9 時	平成 14 年 9 月 30 日
	平日 17 時から 21 時を追加	平成 20 年 6 月 2 日
	平日 始発から終発までに拡大	平成 27 年 4 月 1 日
名城線・名港線	平日 始発から 9 時	平成 28 年 7 月 4 日

(2) 東山線への導入の理由

東山線は、他の路線に比べお客さまが多く、痴漢等の届け出件数が多かったため、平日の朝の時間帯に導入をしました。その後、夕方の時間帯を追加し、その他の時間帯においても痴漢等の届け出件数が多かったことから、始発から終発までに拡大をしました。

(3) 名城線・名港線への導入の理由

東山線に次いでお客さまが多い路線であり、痴漢等の届け出件数が比較的多かったため、平日の朝の時間帯に導入をしました。

(4) 鶴舞線に導入をしていない理由

鶴舞線は、名鉄と相互直通運転を行っていますが、名鉄は女性専用車両を設けておらず、地下鉄との接続駅でお客さまに乗り換えをしていただく必要があるなど、お客さまへのご案内に課題があるため。

7 愛知県からの高速度鉄道事業補助金

(1) 要望の推移

(単位 百万円・税込)

区 分	平成30年度	令和元年度
可動式ホーム柵の整備	1,205	3,637
地下鉄構造物の耐震補強	1,106	745
浸 水 対 策	91	39
バリアフリーの整備	823	1,068
老朽化対策（変電所など）	3,160	1,968
車 両 の 更 新 等	2,470	2,157
事 業 費 計	8,855	9,614
要 望 額	2,000	2,000
県 補 助 金	30	30

(2) 補助金額の推移

(単位 百万円)

年 度	補助金額	年 度	補助金額
平成 7 年度	1, 2 0 0	2 0 年度	4 4 8
8 年度	1, 2 0 0	2 1 年度	3 1 5
9 年度	1, 2 0 0	2 2 年度	2 2 3
1 0 年度	1, 2 0 0	2 3 年度	1 5 8
1 1 年度	8 4 0	2 4 年度	1 1 1
1 2 年度	5 8 8	2 5 年度	1 1 1
1 3 年度	5 8 8	2 6 年度	3 0
1 4 年度	5 8 8	2 7 年度	3 0
1 5 年度	5 8 8	2 8 年度	3 0
1 6 年度	5 2 3	2 9 年度	3 0
1 7 年度	4 4 8	3 0 年度	3 0
1 8 年度	4 4 8	令和 元年度	3 0
1 9 年度	4 4 8		

(3) 地下鉄利用者における居住地別の割合

(単位 %)

名古屋市民	4 8 . 6
愛 知 県 民 (名古屋市民除く)	4 0 . 4
県 外	1 1 . 0
計	1 0 0 . 0

(注) 平成 2 7 年度大都市交通センサスに基づき算出した割合です。

8 広告料収入の推移

(1) バス

(単位 千円・税抜)

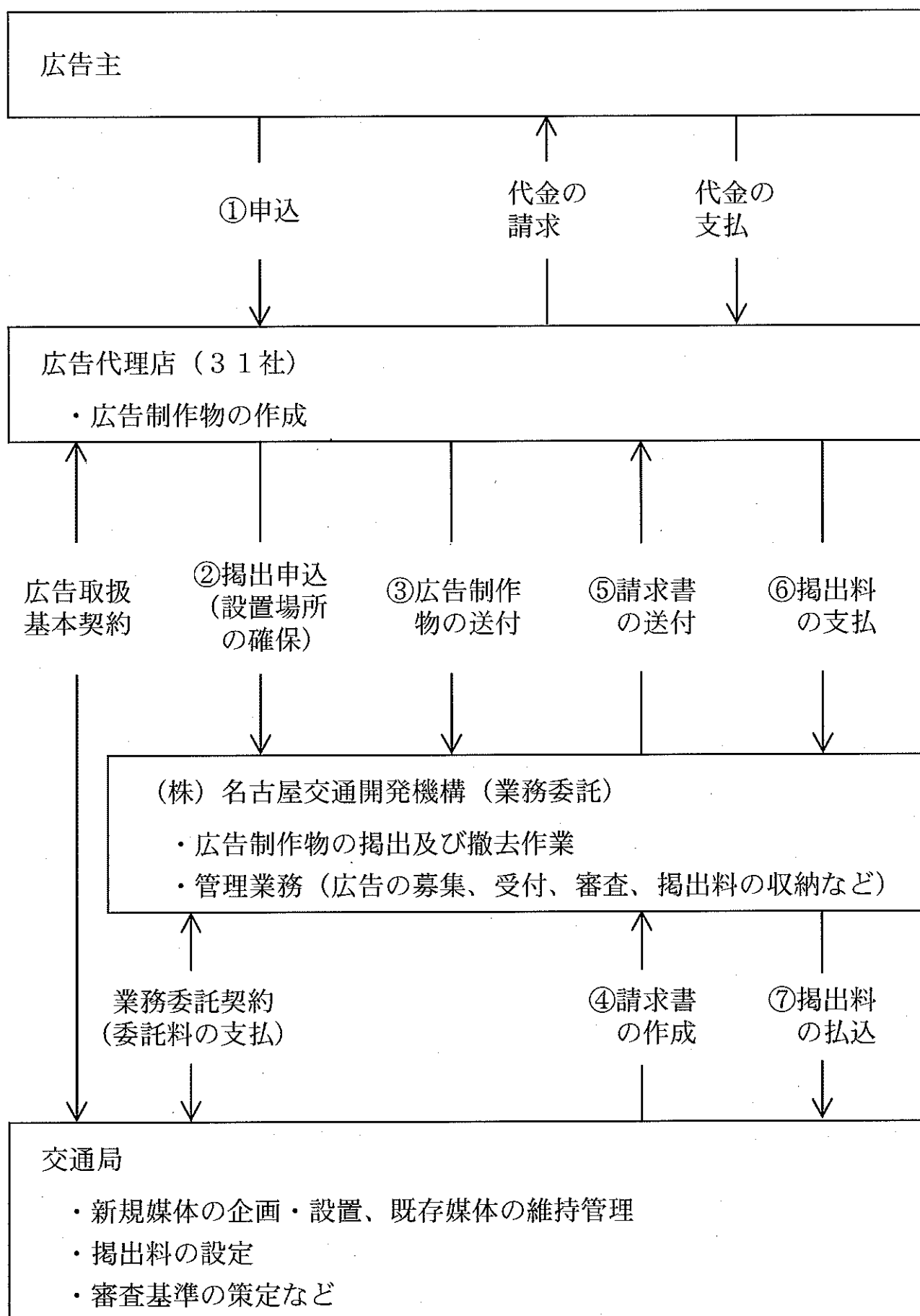
区 分		平成30年度		令和元年度	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
車 両	ポ ス タ ー	21,668	11.1	21,745	11.4
	ス テ ッ カ ー	4,072	2.1	4,895	2.6
	外 側 板	30,174	15.5	30,391	15.9
	ラ ッ ピ ン グ	80,694	41.5	75,497	39.6
	案 内 放 送	22,068	11.3	22,416	11.7
バ ス タ ー ミ ナ ル		27,377	14.1	27,243	14.3
そ の 他		8,531	4.4	8,534	4.5
計		194,584	100.0	190,721	100.0
予 算 額		211,703		216,063	

(2) 地下鉄

(単位 千円・税抜)

区 分		平成30年度		令和元年度	
		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
車 両	ポ ス タ ー	1,107,332	33.9	1,034,940	33.1
	ス テ ッ カ ー	459,388	14.0	423,447	13.6
	ラ ッ ピ ン グ	6,720	0.2	6,720	0.2
	案 内 放 送	181,560	5.6	185,664	6.0
駅	ポ ス タ ー	544,264	16.6	489,236	15.7
	デジタルサイネージ	170,264	5.2	188,777	6.0
	壁 面	745,315	22.8	738,439	23.6
	そ の 他	56,646	1.7	55,967	1.8
計		3,271,489	100.0	3,123,190	100.0
予 算 額		3,571,342		3,386,018	

9 広告申込時の流れ



10 オリジナルグッズの販売状況

(単位 千円・税込)

商 品 名	販売数 (個)	売上額
市バス90周年記念グッズ		
カードケース付きネックストラップ	500	550
バス型バスマット (一般バスカラー)	1,000	1,300
とことこ市バスぬいぐるみ	1,000	900
トミカ	8,915	8,024
バス型貯金箱	3,000	4,800
バス型ラバーパスケース	1,500	1,350
バス型バスマット (レトロバスカラー)	1,000	1,300
地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転40周年記念グッズ		
電車型ぬいぐるみ ボックスティッシュカバー	1,200	1,800
桜通線開業30周年記念グッズ		
走る！電車型キーホルダー	3,000	2,100
合 計	21,115	22,124

(注) グッズは、すべて完売しています。